



氏名 KN
所属 現代システム科学域 環境社会システム学類
学年 2年

留学先 ビクトリア大学 ME (ビクトリア大学)
留学期間 2025/3/2~2025/3/30

留学レポート Study Abroad Report

【はじめに】

私は春休みの4週間でカナダのビクトリア大学に短期留学しました。ホームステイを通して現地の生活を体験してみたいということ、カナダでの生活に漠然とした憧れがあったことからこのプログラムに決めました。しかし渡航直前は馴染みのない国で、初めて会うホストファミリーの家で暮らすことや1か月間家を離れることに対して様々な不安もありました。そんな不安も抱えながらスタートした留学でしたが、帰ってきた今ではこのプログラムに参加して本当に良かったと思っています。このレポートでは、ビクトリア大学での授業の様子やアクティビティ、ホームステイ先の様子について書いていきます。留学を考えている方にとって少しでも参考になれば幸いです。

【授業について】

授業は月曜日から木曜日の9時から15時まで行われました。初日のspeakingとwritingのテストの結果からクラス分けが決まり、4週間そのクラスで授業を受けました。レベルによって一クラス当たりの人数は異なりますが、どのクラスも18人以内の少人数で行われました。私のクラスは12人で、国籍としては日本人が9人、韓国人が2人、中国人が1人と日本人が大半でした。そのため学校にいる時間が完全に英語だけの環境だったわけではありませんが、授業中は英語のみ、休み時間も半分くらいは英語だったので、日本人ばかりであっても英語を用いたコミュニケーションの練習をすることができました。授業内容はreading、speaking、listening、writingどれも行いました。特にspeakingには力を入れており、様々な議題に対してディスカッションする機会が多々ありました。その際、多国籍のクラスメイトがいると各国の考え方の違いや文化、習慣の違いを知ることができ、非常に興味深く感じたのをよく覚えています。もともと積極的に発言することが得意ではない上に、クラスメイトのspeakingレベルに自分が全然追いついていないと感じてしまい、最初はグループディスカッションの時間に発言することを躊躇ってしまう瞬間がありました。自分の考えていること、思っていることを伝えたいのにうまく英語にできない、言葉が出てこない、と感じる瞬間が多々ありました。しかし、それを言葉にする練習をしに来ているのだと思い、間違えてもいいからとりあえずトライしてみようと思い直しました。すると、どのクラスメイトも先生も私の拙い英語を理解しようとしながら聞いてくれ、次第に英語で発言することへの恐怖心やためらいの気持ちは薄れていき、どうやったらもっと上手に伝えられるかを考えるなど前向きな姿勢で取り組むことができるようになりました。クラスにいる全員が英語を学びに来ていて、間違えることから成長していくので、怖がらずに前向きな姿勢を持つことが大切だと改めて実感しました。

【アクティビティについて】

アクティビティは無料で参加できるものから、事前に予約し有料で参加するものまでさまざまなアクティビティが用意されていました。無料で参加できるものには毎週水曜日の放課後に行われる conversation club や金曜日のダウンタウンツアー、サッカーやバスケットボールなどのスポーツがありました。conversation club では CA と呼ばれるビクトリア大学のスタッフさんなどと一緒に、お菓子を食べながらトランプやボードゲームをしたりします。クラスに日本人が多い分、中々学校でネイティブの方とお話できる機会は少ないのでこの conversation club には参加して良かったと思います。さらに、ゲームを通して他の留学生との交流を深めることができたので学校のアクティビティは友達作りの良いきっかけにもなったと感じています。有料のものには二泊三日のバンクーバートリップやアイスホッケー観戦、Butchart Gardens、High Tea(アフタヌーンティー)などがありました。特にバンクーバートリップは人気のアクティビティなので早めの予約をお勧めします。これらは申し込みを行えば、学校側が色々の手配してくれるので非常に楽にアクティビティを楽しむことができました。また、アクティビティがない日や参加しない週末は事前に友達と計画してビクトリアを観光しました。



スチームクロック



キャピラノのつり橋



アイスホッケー

【ホームステイについて】

このプログラムを希望した理由の一つにホームステイができるということがあったものの、参加が決まってから最も不安だったのがこのホームステイ先での生活になじめるかどうかでした。しかしホストファミリーも良くしてくださり、食事もととても口に合い、快適に過ごすことができました。ホームステイ先では朝昼晩の食事をすべて用意してくださり、昼は作っていただいた昼食を学校に持っていき学校で食べていました。部屋にはベッドやチェスト、机が備わっており、ルームメイトと共用のトイレとシャワーも清潔で非常に快適に過ごすことができました。ホームステイを通して感じたことは食事の量や苦手なもの、その他生活で困っていることや気になっていることがあれば遠慮せず伝えてみた方が良いということです。英語でうまく伝えることは難しいため、ついつい遠慮したり我慢したりしてしまう部分があるかもしれませんが、お互いが快適に過ごすためにも正直に伝えることが大切だと感じました。またホームステイ先はネイティブの方と話せる貴重な環境なので、ホストファミリーと積極的にコミュニケーションをとることは自身の英語力を伸ばすためにも非常に大切だと感じました。また、ホストファミリーはビクトリア内やバンクーバーのおすすめの場所や美味しいお店をたくさん知っている所以他们を教えてもらい、限られた時間の中で有意義に観光することができました。

【最後に】

ビクトリアはとても自然が豊かで緑が多く、海にも山にも行くことができるとても素敵な場所です。現地

の方々もとても親切で、様々な場所で話しかけてくださったり、色々と助けていただきました。留学前は不安もたくさんあると思います。慣れない土地、知らない文化の中で滞在する決心をすることは大きな勇気が必要かもしれません。私自身渡航前は1か月という期間をとっても長く捉えていました。しかし実際に行ってみると本当に毎日が新鮮で充実していて心から行ってよかったと思える時間を過ごすことができました。もし留学に迷われている方がいらっしゃったら、少しでも前向きな気持ちになっていただけたら嬉しいです。みなさまの留学が実り多い素敵なものになることを願っています。

